糸魚川市ボランティアだより

第 37 号

ボランティアの輪を広げよう

－発　行－

糸魚川市ボランティアセンター
糸魚川市ボランティア連絡協議会
(糸魚川市社会福祉協議会内)
新潟県糸魚川市寺町4-3-1
TEL (025)552－7700
FAX (025)553－1657

赤い羽根街頭募金（令和7年10月1日）

ボランティアに参加しませんか

あなたの力を社会に活かそう

やさしい心に感謝!!

ボランティアフェスティバル
9月27日(土) ビーチホールまがたま

能生ボランティア友の会　日馬富子

昨年度の冷たい雨とは違い、暖かい日差しにつつまれた今年度のボランティアフェスティバルでした。

私たち能生ボランティア友の会は、昨年度同様に焼きそば販売を担当しました。会員4名での参加でしたが、前回と違い焼きそばを作る場所と販売の場所が離れていました。天気も良くお客様の出足も良かっただけに焼きそばを焼く美味しいにおいがなく、お客様の足を引き留めておくことができず、歯がゆい思いをいたしました。

私たち友の会は、活動が能生地区ですが、ボランティアフェスティバルのお客様に能生の方があまりいらっしゃらないような気がしました。ボランティア担当で来ている方以外はあまりボランティアフェスティバルのことを知らない方も多いのかもしれません。

今回初めて参加した2名の会員もボランティアフェスティバルの名前は知っていてもどのようなことを行っているかは知らなかったそうです。

来年度の20回大会に向けて周知の必要性を感じました。

合同自主研修
10月18日(土) 富山市

おもちゃの病院　五十嵐秀男

去年10月18日(土)に合同自主研修に参加しました。場所は富山市大和デパート横の「グランドプラザ」で「ボランティアNPOフェスティバル」と題してNPO大会が実施されました。私たち一行は、ボランティア13団体の代表20名と事務局1名、計21名で一路富山へと向かいました。

グランドプラザは広場となっているが全面屋根があり雨でも心配なく活動できます。PR動画、展示、体験、ステージ発表、投票の各ブースに分かれており自由に参加見学ができました。特に展示ブースでは21のボランティアグループの活動が紹介され、糸魚川では聞き慣れない名前のグループが沢山ありました。例えば「富山チャイルド愛ランド」(子どもの気持ちを聞く傾聴電話)、「富山三ツ星山の会」(障害者、健常者関係なく交流し自然を楽しむ会)など大変興味深く見学することができました。糸魚川と富山では人口の数も違うと思いますが、大変大勢の方が来場しているなと感じました。ただ、駐車場がないので車で来られる方には不便かなと思います。今後の活動の参考となり有意義な一日でした。

福祉講座（災害時のペット避難）
10月28日(火) ビーチホールまがたま

能生地区民生委員児童委員協議会　池田秋子

民生委員として日頃皆さんのお宅を訪問した際に、家族としてペットと過ごされている様子を良く見かけます。

「もしも」が起こる前に何かアドバイス出来ることがないかと日頃から考えていましたが、今回の福祉講座の内容が災害時にペットを連れた避難という事をお聞きして参加させていただきました。

避難する際に必要な物としてペットの7日分の水食料、トイレ、ゲージ、ワクチン等ペットと暮らしていない私には思いつかない事ばかりでした。

お聞きした内容を後日簡単な文書にして訪問時にお渡ししました。また、避難場所に指定されている公民館にもお渡ししたところ、避難場所でも検討しないといけないかなと言っていただきました。

私は、幸いなことに今まで大きな災害にあったことがありませんが「もしも」が起こる前の準備が日頃から必要だと強く感じました。

～ボランティア連絡協議会に所属している団体の紹介～

糸魚川市赤十字奉仕団

糸魚川市赤十字奉仕団ができて38年が経ち、高齢化が進み団員も減少し、現在17名で活動しています。

ボランティアフェスティバルでは、風呂敷とタオルを使った「防災頭巾」「風呂敷リュックサック」新聞紙を使った「スリッパ」などを作り、実習体験をしています。大盛況で防災頭巾が可愛いと写真を撮る方もいます。

災害時の炊き出し訓練では、感染症や衛生面を考えた用具を使い、自分の分は自分で作るをテーマに、カレーやデザートを作ります。コミュニケーションをとりながら訓練を行います。

団員の結集力を次につなげていくことが直面している課題です。私たちと一緒に活動してみませんか。

青海たんぽぽの会

私たち青海たんぽぽの会は、赤十字奉仕団も兼ねています。青海総合福祉会館ふれあいで毎月第1水曜日に例会を行っています。

主な活動としては、高齢者福祉施設への慰問活動、毎月のボランティア、デイサービスへ週2回のお手伝い、地域活動支援センターあけぼのでのアクリルたわしの作成などを行っています。

また、赤い羽根共同募金の街頭募金や社会福祉協議会の行事のお手伝い、赤十字奉仕団として防災訓練等に協力しています。

バルーンアートでは、こども食堂での交流や制作したバルーンを市内のイベントに提供しています。

問合せ　(社会福祉協議会) 電話 552−7700

令和7年度　下早川小学校の取組

～敬老会や文化祭での発表～

3･4年生の総合的な学習の時間では、「ミラクルを起こそう!早川幸せ!きらきら大作戦」のテーマのもと、地域の伝統的な行事のことを知り、地域の人々の思いや願いを未来につなげようという思いのもと学習を進めました。第1弾「はやかわ藤まつり」、第2弾「ホタルまつり」、第３弾「早川花火大会」、第4弾「日光寺岩戸舞神楽」と学習して学んだことを、全校のみんなや保護者、地域の方に伝えました。クイズに答えてもらったり、拍手をもらったりとお客さんからの反応をいただけたのがとてもうれしかったようです。ずっと続く地域の伝統行事を大切にして、未来へとつなげていきたいという思いを深めました。

～親子環境整備作業～

親子で学校周辺の草取りなどの環境整備作業を行いました。自然豊かなので、整備も大変ですが、みんなで協力してきれいにしました。新学期を気持ちよく安全に迎えることができました。

～花壇整備ボランティア～

緑委員会では、全校ボランティアを募り、チューリップとムスカリの球根植えを行いました。10名のボランティアが集まりました。上学年が下学年に植える場所や植え方を教えたり一緒に考えたりする姿が見られました。春が待ち遠しいです。

～おじいちゃん おばあちゃんに届けよう！　愛いっぱい ヒヤシンス～

地域の社会福祉施設「クレイドルやけやま」に入居しているお年寄りの方に、ヒヤシンスの水耕栽培で育てたお花をプレゼントします。ペットボトルで容器を作った5･6年生、水替えのお世話をし、ペットボトルに飾り付けをした2･3･4年生。

今後すてきな花が咲いたら、メッセージを添えて、かわいい1年生がおじいちゃん、おばあちゃんに届ける予定です。

編集後記

新年早々、最強で最長寒波の到来で雪かきで腰を痛めている方はいませんか。どうか事故のない様に気を付けて行って下さい。

越後は降雪が多く、この厳しい冬があるからこそ春を迎える喜びが大きいのだと思います。御風の里は雪にひたすら耐えて、やがて来る「けんか祭り」を待ちましょう。　広報部　堀口